

「はしか」にならないために 「はしか」にさせないために

はしか(麻疹)は麻疹ウイルスの感染によっておこる、非常に感染力が強い病気です。一般には小児に多い病気ですが、大人がかかると重症化しやすい傾向があります。又、免疫力が低下し、肺炎や脳炎、中耳炎などの合併症が起こりやすくなります。



◆はしかの症状

うつってから 1~2 週間(潜伏期間)後に症状が出始め、次のような経過をとります。

《初期》

38℃前後の熱、咳、鼻水、結膜炎などの症状が出ます。2~4 日目に熱が一旦下がります。

《発疹期》

再び高熱が出るとともに、小さい発疹が顔から出始め、3~4 日で全身に広がります。

《回復期》

熱が下がり、発疹も色あせてきます。合併症がなければ、発症から 7~10 日で回復します。

◆はしかの流行を防ぐために

《患者さんが近くにいたら》

- ・2度かかることは、原則ありません。
- ・はしかにかかったことがなく、予防接種も受けていない場合、72 時間以内の予防接種で、高い予防効果が期待できます。
- ・潜伏期間は体調の変化に留意し、37.5℃以上の発熱があったら外出を控えましょう。

《はしかが疑われるとき》

- ・初期の症状が見られた場合は、医療機関を受診してください。
- ・受診の際は、事前に医療機関に電話連絡をして、受診方法を確認してください。

《はしかと診断されたら》

- ・解熱後 3 日目までは人の集まる場所に行かないようにしましょう。
- ・身近な方たちに「はしか」と診断されたことを伝え、感染拡大防止に協力しましょう。

◆ はしかの治療

- ・特効薬はありません。
- ・熱さましや咳止めなど、症状を軽くするための治療を行います。
- ・肺炎や中耳炎などの合併症をおこした場合は、抗生剤による治療を行います。
- ・ワクチンによる予防がもっとも重要です。

《はしかの予防はワクチン接種》

自分が感染しないためだけでなく、周りの人に感染を広げないためにも予防接種を受けましょう。

◇予防には 2 回の接種が必要です。

2 回の予防接種により、

- ① 1 回目の接種で免疫のつかなかった方に免疫を与えます。
- ② 1 回目の接種から時間がたち、弱まった免疫を刺激し、強固にします。
- ③ 1 回目の接種を受けられなかった方に、もう 1 度接種のチャンスを与えます。

◇定期接種の対象年齢は？

- 第1期 1 歳児
- 第2期 小学校入学前の 1 年間



感染症に関するご相談は村山保健所 感染症対策室 電話番号：023-627-1105